

サステナビリティ

循環型社会・脱炭素社会実現に向けて、環境課題に対する解決策を提供することで時代の要請に応える『環境解決企業』をキーワードに掲げ、当社グループの持続的で健全な発展と社会課題の解決を両立した取り組みを実行していきます。

47 セメント産業とCO₂、当社の取り組み

48 サステナビリティ推進体制

49 サステナビリティ戦略

50 2030年に向けた温室効果ガス(GHG)削減目標と取り組み状況

52 2050年カーボンニュートラルに向けた11のステップ

54 CO₂再資源化人工石灰石によるCCU

58 TCFDに基づく情報開示

60 気候変動に関わるシナリオ分析と影響度評価

62 広範なルール形成活動への対応

64 循環型社会への貢献

66 環境マネジメント

67 環境への取り組み

70 生物多様性・自然資本に関わる取り組み

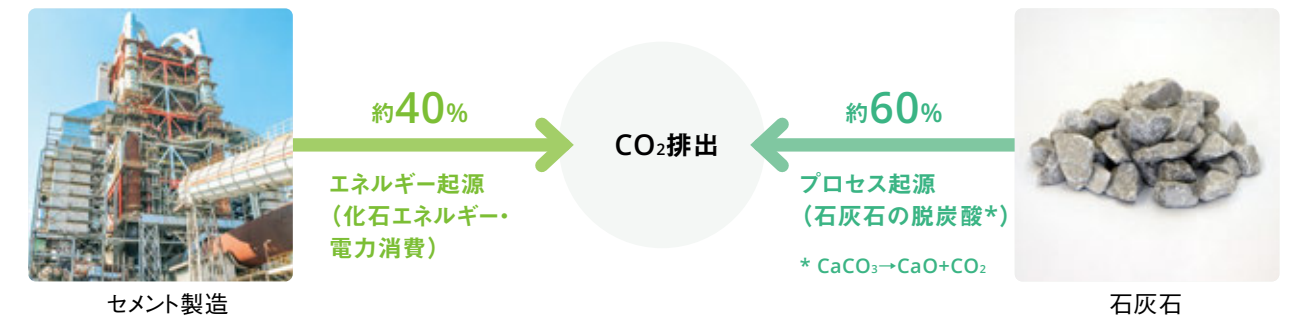
セメント産業とCO₂、当社の取り組み

日本のセメント産業とCO₂の発生

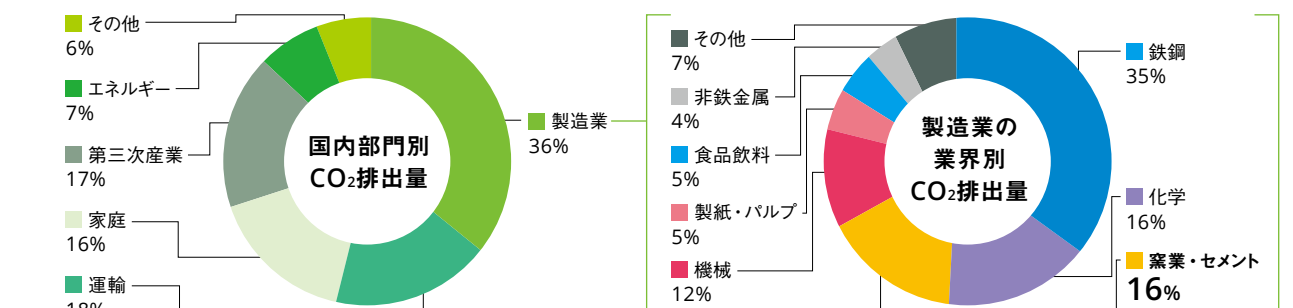
セメント原料の大半は石灰石です。日本は、埋蔵量・品位ともに世界有数の石灰石資源国であり、日本のセメント産業は、この豊かな石灰石資源を基盤に100年以上にわたり、日本のインフラ構築に貢献してきました。

セメント製造では、石灰石にシリカ源・アルミナ源を含有する原料や鉄原料を適正配合して、1,450℃でロータリーキルンにおいて焼成します。その際の化石エネルギーの燃焼によるCO₂発生に加えて、石灰石が脱炭酸反応してCO₂が発生します。前者はエネルギー起源、後者はプロセス起源と呼ばれ、セメント工場におけるCO₂排出の約60%をプロセス起源が占めています。

セメント産業からのCO₂排出の現状



日本の温室効果ガス排出データ2020年度確報値(出所:国立研究開発法人国立環境研究所)



温室効果ガス(GHG)削減に向けた当社の取り組み状況

日本政府によるカーボンニュートラル(以下、CN)宣言を受けて、当社では2020年12月に、2050年CNに向けた道筋や2030年の具体的な削減目標等を示した「SOCN2050」を取りまとめて公表。その後、NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)運営のグリーンイノベーション(GI)基金事業での採択、経済産業省主導のGXリーグへの参画等、各般の温室効果ガス(GHG)削減に向けた対応を図ってきました。更に2025年4月には、CO₂再資源化人工石灰石のパイロットスケール製造試験設備の稼働を始めるとともに組織の改組を行い、体制を強化しました。

一方で政府は、エネルギー基本計画・地球温暖化対策計画を改定し、新たな排出量削減目標である「日本のNDC(国が決定する貢献)」を2025年2月に国連に提出しました。更に、今後は排出量取引など改正GX推進法による各種制度が導入される予定です。こうした外部環境の変化等を踏まえて、当社では「SOCN2050」の改定作業を進めているところです。

